夕刊
昭和九年七月五日 磐城新聞 〔木曜日〕 第四千六十七號 〔一〕
〔第三種郵便物認可〕
七月四日發行
日曜祭日發行 日休刊
定価 一ヶ月金六拾銭 郵税金五銭
磐城新聞社
編輯兼発行人 木村 甲
印刷所 磐城新聞印刷部
印刷人 木村 甲
発行所 磐城新聞社
福島縣磐城郡平町字十二子一番地
電話 編輯局 金六拾九番
営業局 金六拾番
振替口座 仙台二〇二番

兒童劇革新論

淺野生

さうした我々には、兒童劇の一般的レベルを見せてくれるわけで、期待は大きかつたのであるが、參觀しての結果は、我田引水論でなく、我々の方の産出がすべてに於てはるかに藝術的であり、獨創的であることを感じたのである

小學校あたりの出品が多かつたが、その舞臺裝置があるものは、新派式な裝置であり、あるものは、リアリスティックな新劇の舞臺をそつくりとつた大じかけ（といふより重つくるしい）なものであり、あるものは大きな紙へ平面的な畫を書いたものであり、あるものはたゞ兒童劇としてのすべての根本的條件を無視して凝りにこつた美しい舞臺面であつたり——これらのすべての背景には、共通的に童心的明るさと奔放自由なロマンティックな氣分の流動が缺けてゐた。要するに兒童の生命を生々と躍動させるやうな、滿ち溢れるやうなあるものが感じられなかつた

私は、將來我々の獨創になる背景の製作方法が採用されることによつて、小學校の兒童劇が、教育の趣旨を全うした、新しい藝術的な兒童劇の背景形態が生れるものであるといふ確信をもつに至つた。と共に、背景としての基本的な製作術同できない。犬とか、猿とか、狐とか、その他の假面によつて登場するもの、表現が行はれるものには、額に平面的な、まるでコドモの思ひつきを、無批判に採用したやうな從來の假面のやりかたでは、それら登場者の生命的表現はできてゐない。兒童が自ら製作した假面を用ひ、自ら出演するのだから、あれで良いのだと考へる人があるかもしれぬが、兒童の製作品としても、そこには兒童の單に見ひがあるだけで、創意と創作的努力が働いてゐないら演出の形式的方面のみを述べ、且假面を兒童劇に絶對必要なものであることを述べたいのである

けれども、從來一般に用ひられてゐるやうな、出演兒童の前額部に、シルシだけの形をつける方法には贊

磐城歌壇

新妻久滿夫選

草野みどり子

○夕雲の淋しく山々包むなり、夏のひらめき麥燒く炎

◎夕暮の青野の原に柴の、麥やく煙わびしかりけり

○大空はやゝに靜まり黑ずみぬ、麥やく炎のみ赤くひらめく

○若苗のすく〳〵長し細き葉を、動かしてゆく黃昏の風

○畑土の生の香を其のまゝの、若き玉菜にん齣すゝみぬ

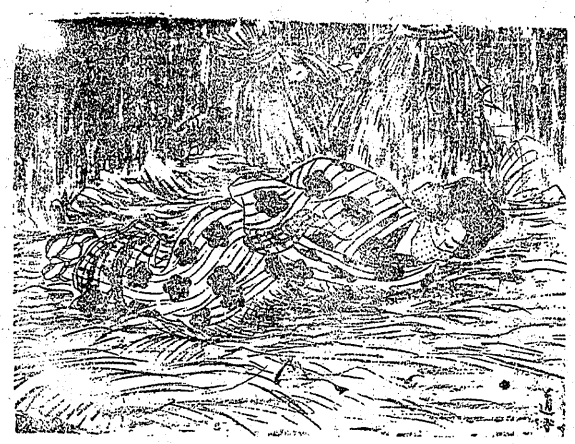
小評 昨紙所載參照。訂正箇所に注意。

講談 浪人長屋

日岐武志作

(130) 月草道子畫

「お前さんがこの邊をうろ〳〵してゐるのは、大方小再び、し—んと元の暗と靜戸をしめて錠を下し、足音聞柄、どんなうらみか知らがとほのいてしまつた後はぬけど先刻の仕打はどうしあたしは、どこまでも、あの人を信じてゐる……」



社會の今日

○

夕ふかしうまやの蚊道燃え立ちて、親子の馬の顏あかく見ゆ

古泉 千樫

馬蠅のうるさく來るや炎照り

東 介

青春の花火 (詩)

鳴海 杏一

一、靜寂な死を味つて居る
大都會の一角——
消化不良の光彩の內に、
歡樂が呼吸して居た
彼は言ふ——夢い現實に
生きるより、永遠の眞理に生きよう
街學的な踊り子は言ふ
(分つたふりして相槌をうつた)
——ふん、そうね
彼は言ふ——道學者の觀念を革命させるのだ
自己の清算は死である
形而上學の構成は霧圍氣を渦卷にした
欠伸が時間と格鬪し初めた

二、生活が彼の總てを占領して居た
勞働は彼を昇天の歡喜に迄引上げた
而るに人生はメカニックな洗練が美學を存生させた
比例の固定法則は肯定と矛盾した
結局、勞働は苦痛の生活
的剩餘價値だつた
遂に彼は考へた、生活の樹を枯らせる腸結核を撲滅するのが、愚かなる苦鬪に對する賢明なる妥協だと

三、青春の螺旋狀の中に不器用に廻轉する情熱の塊があつた
其の塊を分析して見たら二つに分解した
——感情を掴み出し大空へなげて、ぶつつけて哄笑する物と、感情に充血して、息苦しく苦笑する物——
戀愛は超現實的な構圖を『キャンヴアス』の上に投げかけて居る
彼の美的對象を型づくる其の一つは顏——牧歌的な叙情的な奏曲を奏でて居る
胸——懷中時計の心臟に似た健康な性慾を姙んで居る
腰——纖細な力學的な美しさが激刺として居る
彼は懊惱の淵に佇み、苦悶の象徵を永遠の水に捨て樣かとした
幾年か後の春の丘の彼方には彼を乘せる可く『ボート』が待つて居る筈なのに
彼は蒼白い頰を痙攣させながら青春の感覺に凄まじく火花を散らして居る

一九三四、七、一

輕井澤

島田忠夫

ひぐらしの聲
一つ聞ゐる
からまつ林の
しづかな日ぐれ

外國人が
だまつて歩いてく
夏の日ぐれの
空は澄んでる

輕井澤驛を
出てゆく汽車か
百合の花にほふ
この道にひびく

輕井澤

島田忠夫

ひぐらしの聲
一つ聞ゐる
からまつ林の
しづかな日ぐれ

外國人が
だまつて歩いてく
夏の日ぐれの
空は澄んでる

輕井澤驛を
出てゆく汽車か
百合の花にほふ
この道にひびく

社會の今日

△浦生君卒效す（文化一〇）△葛寶山事ツてしまふがいいさ、ホ、……』

5日 △第二次日本共產黨事件求刑△地汇りの峠大崩壞△米國のマターン、グリフイン兩氏世界一周飛行の途につく（同七）△戰區接收の日支協定成立（同八）

7月一件に憤激平壞の鮮人大暴動△那人部落を襲ふ（昭和六）△第二次日本共

○

夕ふかしうまやの蚊道燃え立ちて、親子の馬の顏あかく見ゆ

古泉 千樫

馬蠅のうるさく來るや炎照り

東 介

講談 浪人長屋

日岐武志作

(130) 月草道子畫

「お前さんがこの邊をうろ〳〵してゐるのは、大方小再び、し—んと元の暗と靜戸をしめて錠を下し、足音聞柄、どんなうらみか知らがとほのいてしまつた後はぬけど先刻の仕打はどうしあたしは、どこまでも、あの人を信じてゐる……」

まごろはどこかの飯もり女らさし入る明りも消え、眞か、女郎にでもうり飛ばさつ暗な中に靜香は一人泣きれてゐることだらうよ』去りにされてしまつたのだ玄內はニヤ〳〵と笑つてつたつい出たらしく、ごうー

さんざくついたお新風が出たらしく、ごうー

『あたしたちは、之から碓ツと、うなるやうに、時々氷の谷底へいつて鐵彌とお とほく吹き鳴らしてゐる蝶が、夫婦氣どりでゐるところを爆藥でどかんとやツつけようツて筋書きさ』

——太七と圀が、すくひなかつたから、お母樣があに來てくれるにちがひないのやうなお最後をなされたことも、どこへお報せしてよいかわからなかつた。しかも、にくんでも餘りある仇敵玄內を、まのあたりに見ながら怨みの言葉一妄なつてみた、しかし、その不つついて、いつまでも安な影はこゝろの何處かにこびりついて、いつまでもはなれない樣におもはれて靜香は俄に切ない氣がしてならなかつた

『新大概にして出掛けようぞ』

『出かけようよ。たつた一突にするのはわけなしだが我慢してあげるよ、さんざ我慢してあげるよ、さんざそこで苦しんで俄てくたばせた玄內とお新、入口の板

靜香は、絶望とは考へなかつた

しかし、この小屋は街道筋から餘程外れた、山奧でも知れませぬ……』

『それはさうとして、お新さんの仕打ちはあんまりひどすぎる、幼いころには一どわかされるところを、すくつてくださつたあの蛇道ひのお蝶さん。あのお蝶さんが鐵彌さまを介抱なされて今も尚碓氷の谷間にゐるとやら……』

靜香はほんたうのこととは、信じられなかつた

『さうして鐵彌さまと、お蝶さんが親密な仲になつたとか……』

さうおもふと、內氣な靜香とて若い娘である。しかも戀しい鐵彌の面影を毎日胸に描いてゐる靜香である

『もしも、それがほんたうだつたなら……』

ふツと、不安な影がこゝろに落ちた

『いゝえ』

と、靜香は强く

『いゝえ、あのいとしい鐵彌さまに限つて。そのやうな、ことがあらう筈はない

しかし

靜香は橫たはつたまゝ、それからそれへと、とやかくと、思ひめぐらした

『あたしの父ツさんが殺された晩、すんでのことでこのあたしも玄內のためにかどわかされるところを、すくつてくださつたあの蛇道ひのお蝶さん。あのお蝶さんが鐵彌さまを介抱なされて今も尚碓氷の谷間にゐるとやら……』

靜香はほんたうのこととは、信じられなかつた

『さうして鐵彌さまと、お蝶さんが親密な仲になつたとか……』

さうおもふと、內氣な靜香とて若い娘である。しかも戀しい鐵彌の面影を毎日胸に描いてゐる靜香である

『もしも、それがほんたうだつたなら……』

ふツと、不安な影がこゝろに落ちた

『いゝえ』

と、靜香は强く

『いゝえ、あのいとしい鐵彌さまに限つて。そのやうな、ことがあらう筈はない

と、打ちけすやうに、いてみた、しかし、その不安な影はこゝろの何處かにこびりついて、いつまでもはなれない樣におもはれて靜香は俄に切ない氣がしてならなかつた

美味で評判の
イワキサロン
平町電三五二

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい……
直に家政婦を派出します。
料金は極めて低廉です
親切叮寧
産婦の御家庭へお留守居番
御病人の付添へ年寄やお子さんの付添
炊事や雜用
派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二（電話呼六五二）
上原家政婦會
會主 上原通子

難波醫院
內科
小兒科
入院應需
自炊の便あり
平町大町
電話五〇二番
醫學博士 難波睦

開業
內科一般
川井安子
川井內科診療所
平町南町六五（舊居）
電話二四三番

吸入用酸素
純度99%
◎科ノ取 ◎緒ト糸ト・絎ト・垂ト・修ト 獨致シマス
體温器
マスク
ハカリ
寒暖計
開內藥局
電話四〇番

銘木ト建築木材ノ御用命ハ
今一番勉强スル當店へ
平町字紺屋町四〇
建築材一式
建具材
便利瓦
㐂織田材木商店
電話四六〇番

極優良材基將棋盤アリ格安讓リタシ。

新車御披露
乘心地のよい三四年式デラックスセダンが入車致しました
貸切の御用命の際は是非電話六八五番へ御試乘の程願ます。
平町貳丁目
三井タクシー
電話六八五番

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁
安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生
郡山腦病院
電話九二五番
院長 醫學士 金森五郎
入院隨時

診療科目
開業
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日本齒科醫學士 西川誠
平町田町（松月堂向と）電話五〇九番

中元
暑中
御贈答洋品
●商品參をはじめ、氣のきいた御贈答向洋品は定評ある弊店の品をお選び下さい……。
海へ！
海水浴洋品
●海水着・海水帽・浮袋・その他34年型が卷に取揃ひました……。
より良く
より安き
中野洋品店
平二・電五三

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
山內醫院
醫學士 山內亨吉
電話六九一番
病室完備
（看護婦見習一名入用）

少年時代平町に居た 新勅選仁井田法學博士

青沼町長や山崎氏などと學校仲間

貴族院議員に勅選された我縣前住吉屋支店の處に在つ前七時半から九時半迄、競國民事訴訟法の權威法學博士平小學校に通ひ現青沼町長、球技の指導練習を行ふ士仁井田益太郎氏は田村郡長等とは良く一しよに水遊と、何れも豫定である、尚守山町金澤の生れであるがびなどに行つたものである各校共通で兒童及び父兄の十歳の頃父君穗重翁が菊田と云ふ、又山崎與三郎氏等ラヂラ体操が第一と第三の磐前磐城上席郡書記としてとは平窪村の宅櫻關塾の筆校庭で昨年同樣ある模倣召明治十二年以降清宮義衛、子仲間であつたなどその幼集日は十五日であると味岡禮質、三宅新、廻武彦年時代に於て平町は深き追岩下敬藏、和田勇、白井遠平憶の土地である外現在關内の諸郡長時代に在任した關彦太郎、同正一氏等の親戚係上毎堂の實家（二丁目清關係其他所有土地がある等光堂書店）に程近き田町（現當町とは種々の發故を有し在の山内醫院）に居住して居る人である

豊田檢事長 後藤檢事正 事務視察

何れも近く來平

豊田宮城控訴院檢事長は來十日至二十七日競技部指導者招聘練習會 廿一日—圖藝部委員會 廿四日 また〳〵水戀催の爲九品寺の傳染病患者左の如ーヂフテリアの百七十九名を最高として四百二十五名の多きに上つて居るが各自の覺醒ど當局の警戒により腸チブス赤痢などは漸次減少しつつある

五年 六 七 八 九
チブス 二元 二六 二四 二四
ヂフテリア 二七 二五 二三 二
赤痢 三一九 六七 四
猩紅熱 五八 五八 五
疫痢 二七 七一 二

平局内野球

七、八兩日開催

局長盃爭奪平局内軟式野球大會は來る七、八の兩日、集配、郵便、保險、工務、電信の左記メンバー五チーム出場開催大接戰を豫想されて居る、因に順位はトーナメント式により決定する

平局代表（括弧内は判明）一月七三通（三）二月二一（六）三月二七通（二）四月三〇（六）五月一八（四）六月二八（九）で大部分が蝕害の類で係員を徹苦笑せしめて居るが開封しても差出人不明の場合には二ヶ月の保管期間後燒却する

善木田小藤泉澤貨本（三）
保險 邊 邊
渡野生渡伊小加志櫻
電信 林 山井太田浦春間 邊 久
橋 永今信吉三渡佐
配 坂與藤斐原尻田寄師
集 藤 木
早佐遠新萩江木片鈴

待望の國道舖裝 愈々けふ鍬入れ

本格的工事は今月末から

平局保險年金勸誘成績 平局で は既報の如くその全機能を擧げて保險、年金勸誘に努力を續けて居るが四月以降六月末日迄の募集成績は成人保險七三六圓（仙台遞信局管内十三位）小兒一二八圓三〇（九位）一時拂年金五、二頭山崎登氏が再選重任した

炭鑛の災害事故は 不注意が最大因

入山で作つた克明な統計

（負傷別）微傷五四、輕傷三七、重傷六、死亡三

で原因は不注意によるもの が斷然多く百件中三十八件を占め、不可抗力二七件、協議不足二〇件、其他一五件である事が判明したので同鑛では既報の如く此週間に於ては清潔、整頓檢査、其他油斷より來る事故防止には特に留意して居る

傳染病減少

平町の五ケ年統計

平町では週間中下水道の清みの手長少年を捕えたのみ面に取締りの手を伸べると

深更から早曉へ 平署の特別執行

獲物は少年泥が一名

横山署長は近來瀕發する炭で何の獲物もなかつた、尚鑛地帶の盜難騷ぎに一昨二同署の統計から觀て繁華な日午後十時から昨三日午前平町より寄ろ内郷、湯本、四時迄全署員の特別執行を好間の炭鑛地帶に事件が多なしたが昨報レヂスター盜いので同署では近くこの方面に取締りの手を伸べると

豊田宮城控訴院檢事長 後藤檢事正 事務視察

何れも近く來平

豊田宮城控訴院檢事長は來十日至二十七日競技部指導者招聘練習會 廿一日—圖藝部委員會 廿四日 また〳〵水戀催の爲九品寺の傳染病患者左の如ーヂフテリアの百七十九名を最高として四百二十五名の多きに上つて居るが各自の覺醒ど當局の警戒により腸チブス赤痢などは漸次減少しつつある

五年 六 七 八 九
チブス 二元 二六 二四 二四
ヂフテリア 二七 二五 二三 二
赤痢 三一九 六七 四
猩紅熱 五八 五八 五
疫痢 二七 七一 二

暑熱を征服する 平二小學のプラン

次回職員會で協議

平町各小學校の夏季休暇中日間、豊間村薄磯海岸で五に於ける体育施設は次回の年以上有志、燈臺、築港、職員會に於て確定するが大辨才天等も見學各日午前七体の所次の如くであると時片倉工場に集合、往復自

第 臨海學校 一日より 動車經費は口糊と自動車賃
一十日迄四倉小學校を 二十錢
宿舍として尋五以上の希望 第 海洲學校 豊間海岸
者約五十名限度、經費は約 二で五、六年生八月十
二個八十錢見當 日午前七時から午後五時迄
湯の嶽登山 從來の宿舍 往復徒歩
たりし勝伽井縁常觸寺が炎 湯の岳登山 五、六年男
上適當の宿舍休憩所無き爲 子生有志、大体六日午前六
喬野鑛泉に一泊二日の湯 時半から午後五時迄、喬野
の嶽登山、尋六以上の希望 鑛泉に休憩、探勝、童話會
者で談話會、探勝等あり經 總工費一萬五千圓外に工事と
費は米五合、金十五錢の見 用器具機械購入費五千圓をする
込み、期日未定 昨年同樣大体

九品寺前廿町歩の 稻苗が赤くなる

高月臺から給水施設

平町北目、久保町並に九品寺附近の好間川沿線水田は既報の如く水不足の裡に辛じて田植を了したが最近査した去る五年以降去月迄に修理が完成し下仁井田方面應急施設をなす事となつた

高月臺に揚水ポンプを設け 昨年同樣

平局内野球

七、八兩日開催

局長盃爭奪平局内軟式野球大會は來る七、八の兩日、集配、郵便、保險、工務、電信の左記メンバー五チーム出場開催大接戰を豫想されて居る、因に順位はトーナメント式により決定する

平局代表（括弧内は判明）一月七三通（三）二月二一（六）三月二七通（二）四月三〇（六）五月一八（四）六月二八（九）で大部分が蝕害の類で係員を徹苦笑せしめて居るが開封しても差出人不明の場合には二ヶ月の保管期間後燒却する

善木田小藤泉澤貨本（三）
保險 邊 邊
渡野生渡伊小加志櫻
電信 林 山井太田浦春間 邊 久
橋 永今信吉三渡佐
配 坂與藤斐原尻田寄師
集 藤 木
早佐遠新萩江木片鈴

愈々けふ鍬入れ

本格的工事は今月末から

平局保險年金勸誘成績 平局で は既報の如くその全機能を擧げて保險、年金勸誘に努力を續けて居るが四月以降六月末日迄の募集成績は成人保險七三六圓（仙台遞信局管内十三位）小兒一二八圓三〇（九位）一時拂年金五、二頭山崎登氏が再選重任した

炭鑛の災害事故は 不注意が最大因

入山で作つた克明な統計

（負傷別）微傷五四、輕傷三七、重傷六、死亡三

で原因は不注意によるもの が斷然多く百件中三十八件を占め、不可抗力二七件、協議不足二〇件、其他一五件である事が判明したので同鑛では既報の如く此週間に於ては清潔、整頓檢査、其他油斷より來る事故防止には特に留意して居る

傳染病減少

平町の五ケ年統計

平町では週間中下水道の清みの手長少年を捕えたのみ面に取締りの手を伸べると

深更から早曉へ 平署の特別執行

獲物は少年泥が一名

横山署長は近來瀕發する炭で何の獲物もなかつた、尚鑛地帶の盜難騷ぎに一昨二同署の統計から觀て繁華な日午後十時から昨三日午前平町より寄ろ内郷、湯本、四時迄全署員の特別執行を好間の炭鑛地帶に事件が多なしたが昨報レヂスター盜いので同署では近くこの方面に取締りの手を伸べると

將兵八百五十名を 平町で摸擬動員

今月中に執行豫定

平町では在鄉軍人分會と協に對し今月中旬か下旬頃藤田分會長指揮の下に摸擬動員を執行するが當日は聯隊より訓示講評の係官出張あり現在の大角海相と代つた人である

超特急聚合離散

同居二日目の結婚式と 矢繼早の別れ話

平町鐵北居住の野菜行商人りつき兎角の風評あつた矢尼居イク（假名）さんは夫君先内職に染人下宿に置いたに死別後二兒を擁して健氣之も同じ姓の某社長と同居理由で不服を申し出たと相らく『先妻を喪つて以來操呂敷に女の決心も些か鈍り生活戰線に起ち只管子三日にして意氣相投合し懇前後し、當の尼居女史も夫守三十年、今回の結婚によ供の成長を樂んでゐたがな意な大原某（假名）を月下氷君の留守中背の君が匪底深つて破つた童貞をどう償ふの一年分も棒に振らねばな大抵の事では之の世智辛人に新郎が某富豪によつてく藏した寄附集めの帳面にか、而も來る大安日には知らず目下左思右考の態であい世の中が渡つて行けず時調達した金五圓也を資本に『一金五十錢也どこそこ』事、内務部長、某縣議其他る、とは近來面黑い話しで折あぶら切つた性的魅惑の酒一升と豆腐二丁で簡單乍なんて克明に記したのを偸有志九十名を招待し本店ではある發散にボロイ餘剩價値にあら芽出度く華燭の典を擧げみ見て悉皆切減の悲哀を感一大披露の宴を計劃し既に

超特急聚合離散

同居二日目の結婚式と 矢繼早の別れ話

平町鐵北居住の野菜行商人りつき兎角の風評あつた矢尼居イク（假名）さんは夫君先内職に染人下宿に置いたに死別後二兒を擁して健氣之も同じ姓の某社長と同居理由で不服を申し出たと相らく『先妻を喪つて以來操呂敷に女の決心も些か鈍り生活戰線に起ち只管子三日にして意氣相投合し懇前後し、當の尼居女史も夫守三十年、今回の結婚によ供の成長を樂んでゐたがな意な大原某（假名）を月下氷君の留守中背の君が匪底深つて破つた童貞をどう償ふの一年分も棒に振らねばな大抵の事では之の世智辛人に新郎が某富豪によつてく藏した寄附集めの帳面にか、而も來る大安日には知らず目下左思右考の態であい世の中が渡つて行けず時調達した金五圓也を資本に『一金五十錢也どこそこ』事、内務部長、某縣議其他る、とは近來面黑い話しで折あぶら切つた性的魅惑の酒一升と豆腐二丁で簡單乍なんて克明に記したのを偸有志九十名を招待し本店ではある發散にボロイ餘剩價値にあら芽出度く華燭の典を擧げみ見て悉皆切減の悲哀を感一大披露の宴を計劃し既に

貧乍ら完納

内郷村で特別表彰

内郷村白水坂本子之吉（ホ）は現在身寄りもなく石炭拾ひ等をして細々ながら生活して居るが切符の配布が遲れると役場に出掛けて催促する程性來納稅の觀念强く昭和元年以來完納を續けたので沼田村長もスッカリ感心、此程外三名（通常）と共に特別表彰をなし平稅務署に報告した

氷水

三七二！氷水の御用命は多少に不拘大勉强の電話三七三番へ御用命願ます。

並 水 金 四 錢
イチゴ水 金 八 錢
あずき氷 金 八 錢
其の他種物一切

十一屋

四丁目 電話三七三番

賣家

新田町中央目抜きの場所

二階 六間
階下 四間
（希望者御來談を乞ふ）
（姓名住社）

吉田眼科病院

廣告

外科全般

特に内臟外科及び内、外、兩域疾患
醫學博士 渡部義夫

小兒科、内科
女醫 渡部きい
平町役場前、電話（二七七）

渡部外科

入院應需
診療午前八時ヨリ午後九時迄

安齊外科醫院

内臟外科
外科一般
花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）

上田醫院

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
病室完備
（電話一二九）

遠く東京方面へ 桃の市場擴張

昨日果樹組合で決定

佐藤神谷前 神谷村
村長頌德碑 自治功勞者顯彰會では過般來同村小學校庭に前村長佐藤久三郎氏の頌德碑を建設中であつたが此程竣功したので來る七日午前十時から除幕式を擧行する

共同作業場新設 縣では本年度農林省より交附され七五圓三二錢件數二（四位）たが例年通り季節の不適で下半期に入つての挽回急いで居るが來る二十日頃迄に竣功する外植田町成瀨組請負、並に直營の淡渠工事も目下順調に進捗中で小林平土木監督所長は昨三日これが督勵の爲出張した

研謠會素謠會 地方出身

芝公園六號地カナモジカイ突擊隊オリモト、コウイチ

カナモジ宣傳 東京

地方氏は過般來滯平、各方面をして居るが切符の配布が遲れると役場に出掛けて催促する程性來納稅の觀念强く昭和元年以來完納を續けたので沼田村長もスッカリ感心、此程外三名（通常）と共に特別表彰をなし平稅務署に報告した

四倉役場增築

四倉町役場の町長室增築工事は來十日頃落成の見込であると

五日

日出 四、三〇 月出後 一一、五九
日沒 七、〇〇 月沒後 一、一五
滿潮前 一〇、一〇 滿潮前五、五五
滿潮後 一一、四〇 滿潮後一、一〇

廣告

吉田眼科病院

研謠會素謠會 地方出身

芝公園六號地カナモジカイ突擊隊オリモト、コウイチ

カナモジ宣傳 東京

地方氏は過般來滯平、各方面をして居るが切符の配布が遲れると役場に出掛けて催促する程性來納稅の觀念强く昭和元年以來完納を續けたので沼田村長もスッカリ感心、此程外三名（通常）と共に特別表彰をなし平稅務署に報告した

四倉役場增築

四倉町役場の町長室增築工事は來十日頃落成の見込であると

五日

日出 四、三〇 月出後 一一、五九
日沒 七、〇〇 月沒後 一、一五
滿潮前 一〇、一〇 滿潮前五、五五
滿潮後 一一、四〇 滿潮後一、一〇

遠く東京方面へ 桃の市場擴張

昨日果樹組合で決定

佐藤神谷前 神谷村
村長頌德碑 自治功勞者顯彰會では過般來同村小學校庭に前村長佐藤久三郎氏の頌德碑を建設中であつたが此程竣功したので來る七日午前十時から除幕式を擧行する

共同作業場新設 縣では本年度農林省より交附され七五圓三二錢件數二（四位）たが例年通り季節の不適で下半期に入つての挽回急いで居るが來る二十日頃迄に竣功する外植田町成瀨組請負、並に直營の淡渠工事も目下順調に進捗中で小林平土木監督所長は昨三日これが督勵の爲出張した

研謠會素謠會 地方出身

芝公園六號地カナモジカイ突擊隊オリモト、コウイチ

カナモジ宣傳 東京

地方氏は過般來滯平、各方面をして居るが切符の配布が遲れると役場に出掛けて催促する程性來納稅の觀念强く昭和元年以來完納を續けたので沼田村長もスッカリ感心、此程外三名（通常）と共に特別表彰をなし平稅務署に報告した

四倉役場增築

四倉町役場の町長室增築工事は來十日頃落成の見込であると

五日

日出 四、三〇 月出後 一一、五九
日沒 七、〇〇 月沒後 一、一五
滿潮前 一〇、一〇 滿潮前五、五五
滿潮後 一一、四〇 滿潮後一、一〇

廣告

吉田眼科病院

研謠會素謠會 地方出身

芝公園六號地カナモジカイ突擊隊オリモト、コウイチ

カナモジ宣傳 東京

地方氏は過般來滯平、各方面をして居るが切符の配布が遲れると役場に出掛けて催促する程性來納稅の觀念强く昭和元年以來完納を續けたので沼田村長もスッカリ感心、此程外三名（通常）と共に特別表彰をなし平稅務署に報告した

四倉役場增築

四倉町役場の町長室增築工事は來十日頃落成の見込であると

五日

日出 四、三〇 月出後 一一、五九
日沒 七、〇〇 月沒後 一、一五
滿潮前 一〇、一〇 滿潮前五、五五
滿潮後 一一、四〇 滿潮後一、一〇

廣告

吉田眼科病院